

## ユニファイドフライングディスクセッション&ドッチビー関東大会2020中止のお知らせ

日本ドッチビー協会が主催する「ユニファイドフライングディスクセッション&ドッチビー関東大会2020」は2020年12月15日に協会のホームページにて告知を開始、2021年1月20日を申込み締切りとして募集をおこなってきましたが、新型コロナウイルス拡大防止の観点より理事会として本日、中止を決定いたしましたのでお知らせいたします。

お申込みをいただいたチームの選手および関係者の皆様には、さぞやがっかりされていることと思います。誠に申し訳ありませんが、ご理解、ご了承をいただければ幸いです。

ご後援の名義を頂戴した各団体様、さらにはご協賛を賜りました企業様ほか、会場借用でお世話になった駒沢オリンピック公園の関係者様など多くの皆様にお力添えをいただき、これまで開催準備をして参りましたが以下の理由で中止を決めましたのでご報告いたします。

現時点、緊急事態宣言は2月7日に解除予定であり、予定をしていました大会の開催は解除後の日程となりますが、お申込みをいただいた各チームの大会に向けた事前の練習機会は相当に少ないか、ほぼ無きものであることが想像できます。予定通り、解除されたとしてもその4日後という日程では大会本番が久しぶりに身体を動かす機会になることが予測され、通常状態で開催する大会と比べケガや故障の発生度合が高まることも避けられないのではないかと判断致しました。

エントリー状況をそれぞれのカテゴリー別に報告させていただきます。

### 【ユニファイドフライングディスクセッション】

16チームを募集のところ⇒3チーム、30名のお申込みでした。

### 【ディスタンス】

180名を募集のところ⇒36名のお申込みでした。

上記の結果を踏まえると申込みを控えられたチームが募集開始時点での私たちの想定以上に増加したと考えられ、感染防止の自粛機運が高まっているものと判断しました。

### 【ゴールドドッチ】

こちらについては8チームを募集のところ⇒10チーム、95名のお申込みをいただきました。  
その内、4チームは新規参加のチームでした。

この結果からゴールドドッチのみの単独大会として実施する方向での検討もおこないましたが、各報道での状況から「緊急事態宣言は延期されるだろう。」との見方が少なくないことも考慮した場合、「延長の判断」を待ち、直後の大会を中止することは選手だけではなく関係者すべてに対してのデメリットが大きいと判断し、単独開催も断念することに決定しました。

なお、この結果をしっかりと踏まえ、【ゴールドドッチ】については緊急事態宣言の解除が前提になりますが、年度内(2021年3月迄)に代替大会の実施を屋外または屋外同等に閉鎖ない会場確保の作業を進めまして、開催についてを検討したいと考えています。

また、同日、別会場での開催を予定していました【ディスクドッチ&ニュースポーツ体験】を主管する予定であったBRidGe(ブリッジ)～大学サークル連携プロジェクトより開催を断念する旨の連絡が1月14日に以下の通り、書面で届きました。

BRidGe に所属する大学(早稲田・慶應・上智・立教・立命館)は2月11日に実施予定であった「2020 学生連携プロジェクト BRidGe 橋をかける大運動会 2021」に向けて連携しながら準備を進めてきました。

しかしこの度、新型コロナウイルス感染症による影響により緊急事態宣言が発出されたことにより、各大学の状況も大きく変化し、本イベントの開催を断念させていただければと存じます。

具体的な理由は以下の通りです。

- ①各大学の課外活動に活動制限がかかるようになったこと
- ②各サークルとも大学当局と調整を進めたが難色を示されていること
- ③参加者が安心して参加できる状況をイベント等の開催経験のない大学生が創出することについて、かなりの困難が伴うと考えられること

大変貴重な機会を賜りましたが、このような形となってしまう申し訳ございません。

何卒ご理解いただけますと幸いです。

以上の理由から2月11日に予定していた全てのプログラムを中止とする決定をした次第です。

関係各位にはご理解・ご了承ほど何卒、宜しくお願い申し上げます。

最後に、駒沢オリピック公園総合運動場 屋内球技場の次回予約は既に完了しております。

今回、中止せざるを得なかった実施内容を中心にしてより一層、充実の大会とするように早めの準備をおこないますので**次回、2021年11月6日(土曜日)**をご期待頂ければ幸いです。